



(注)スクルーレス端子台 オプション加工

特長

- DC+ 24V/12V-2 電源対応
- 170W × 120D × 27Hmm
- スクルーレス端子台仕様 (コネクタ接続も可)
- WAV200B-R サイズ・コネクタ互換モデル
- 5/1Wmax.8Ω スピーカーアンプ装備
- 外部音量ボリューム接続対応
- WAVE ファイル 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit Mono
- CF カード採用 32/64/128/256MB
- 登録時間 44 分 max.(256MB 44.1KHz 16Bit 時)
- 250CH-RS-232C シリアル制御
- エディタソフト VoiceNavi Editor 対応
- テキスト入力音声データ作成ソフト VoiceNavi Announcer 対応
- WRX7000 シリーズを録音ツールに使用できます。

商品概要

WAV580B-R は、音源に「WAVE ファイル」、記憶媒体に Flash カード「コンパクトフラッシュ」採用、フォトカプラ入出力、電源ラインのノイズ対策をした<FA仕様>、音声データ登録最大 250CH-シリアル制御、5W アンプ搭載の WAVE ファイル再生ボードです。

WAV200B-R とサイズ・コネクタ互換の後継モデルです。

主な使用用途

- クライアント・製品別の対応が要求される分野
 - ・駐車場管理受付
 - ・入退室管理
 - ・券売機・精算機
 - ・食券券売機厨房用音源
- 警報盤・警報表示盤の音源
 - ・警報盤
 - ・警報表示盤
- シーケンサー仕様機器の音声ガイダンス・警報
 - ・制御盤の音声警報
 - ・各種産業機器の音声警報・ガイダンス
- センサー利用機器の音声案内・注意
 - ・立ち入り禁止警告
 - ・来客案内
- WAV200B-R の上位ご後継機
 - ・カードデータは完全互換です。
 (注)一部の再生モードは搭載されていません

標準仕様

(注)FA 仕様品希望の場合は WAV570B をご使用下さい。

定格使用電圧	DC+24V±5% または DC+12±5%
消費電流	DC+24V 時 待機時 約 75mA 最大時 約 460mA DC+12V 時 待機時 約 70mA 最大時 約 220mA
寸法・重量	170W X 120D X 27H mm 突起部含まず 約 300g
使用環境	-5°C~55°C 35%~80%RH(但し結露なき事) (保存時) -10°C~70°C
再生方式	WAVE ファイル (注)16Bit データはソフト処理で再生 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit モデル 32/16/12.8/8KHz 16/8Bit モデル
再生帯域	300Hz~ 10KHz
制御方式とチャンネル数	■RS232C 250CHmax. 組立再生バッファ(1 フレーム) : 10CH max 再生中受信バッファ : 20 フレーム max. 非同同期式 全二重 9600bps IN /STOP 無電圧マーク接点または NPN オープンコレクタ OUT /BUSY オープンコレクタ出力(DC+35V,500mA)

VoiceNavi

適用メモ리카ード	Flash カード 「コン パクトフラッシュ」 32/64/128/256MB 1 枚 max. (注)メーカー・型式指定 メルコ RCF-X**MY IO データ CFS-**M(HI)または相当品																	
登録時間	カード容量と WAVE ファイルの サンプリング周波数による 44 分 max.(256MB 44.1KHz 16Bit Mono 時) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">カード容量</th> <th colspan="2">通常</th> </tr> <tr> <th>44.1KHz 16Bit</th> <th>22.05KHz 16Bit</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32MB</td> <td>5.6 分</td> <td>11.2 分</td> </tr> <tr> <td>64MB</td> <td>11.2 分</td> <td>22.4 分</td> </tr> <tr> <td>128MB</td> <td>22.4 分</td> <td>44.8 分</td> </tr> <tr> <td>256MB</td> <td>44.8 分</td> <td>89.6 分</td> </tr> </tbody> </table>	カード容量	通常		44.1KHz 16Bit	22.05KHz 16Bit	32MB	5.6 分	11.2 分	64MB	11.2 分	22.4 分	128MB	22.4 分	44.8 分	256MB	44.8 分	89.6 分
カード容量	通常																	
	44.1KHz 16Bit	22.05KHz 16Bit																
32MB	5.6 分	11.2 分																
64MB	11.2 分	22.4 分																
128MB	22.4 分	44.8 分																
256MB	44.8 分	89.6 分																
再生時間	登録 WAVE ファイル合計時間 またはエディタソフト VoiceNavi Editor 上でプログラム登録した場合、その内容による																	
音声出力	スピーカ出力 DC+24V 時 5Wmax. 8Ω DC+12V 時 1Wmax. 8Ω LINE 出力 600Ω 不平衡 ?6.5dBm~1.5dBm (出荷時 0dBm 固定)																	
音量調整	1.半固定 VR(ボード上) 2.外部 VR 接続対応 (注)JP による半固定 VR と外部 VR 接続との切替 3.外部接点端子による 3 段階音量切替(メイン 音量は半固定 VR による) 大-メイン VR 中-大×1/2 約 -6dB 小-大×1/5 約 -14dB 4.コマンド制御による 3 段階音量切替・保持 (メイン音量は半固定 VR による) FBH-中(大×1/2 約 -6dB) FCH-(大×1/5 約 -14dB) FDH-(大・半固定 VR と同一) (注)電源 OFF の場合でも、設定レベルを保持します。																	
付属品	CK-WAV580B 電源/SP/制御用 CK-W2RS RS232C 用																	
オプション	Flash カード 「コン パクトフラッシュ」 32/64/128/256MB CK-VER3 外部 VR 用コネクタケーブル (シールド) 1m CK-VR3G3 外部接点端子 3 段階音量切替用 1m CK-LER2 LINE 用コネクタケーブル (シールド) 1m エディタソフト VoiceNavi Editor テキスト入力音声データ作成ソフト VoiceNavi Announcer																	

開発支援ツール

WAV シリーズは登録エディタソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)上で既存 WAVE ファイルを試聴しながらアドレス登録、組立再生などのプログラム登録、カードデータファイル作成などができます。

VoiceNavi Editor 登録エディタソフト



既存の WAVE ファイルを登録できます。組立再生、リピート回数設定などのプログラム登録ができます。
組立再生 1 接点-8wave max.
リピート回数 1 接点-5 回 max.

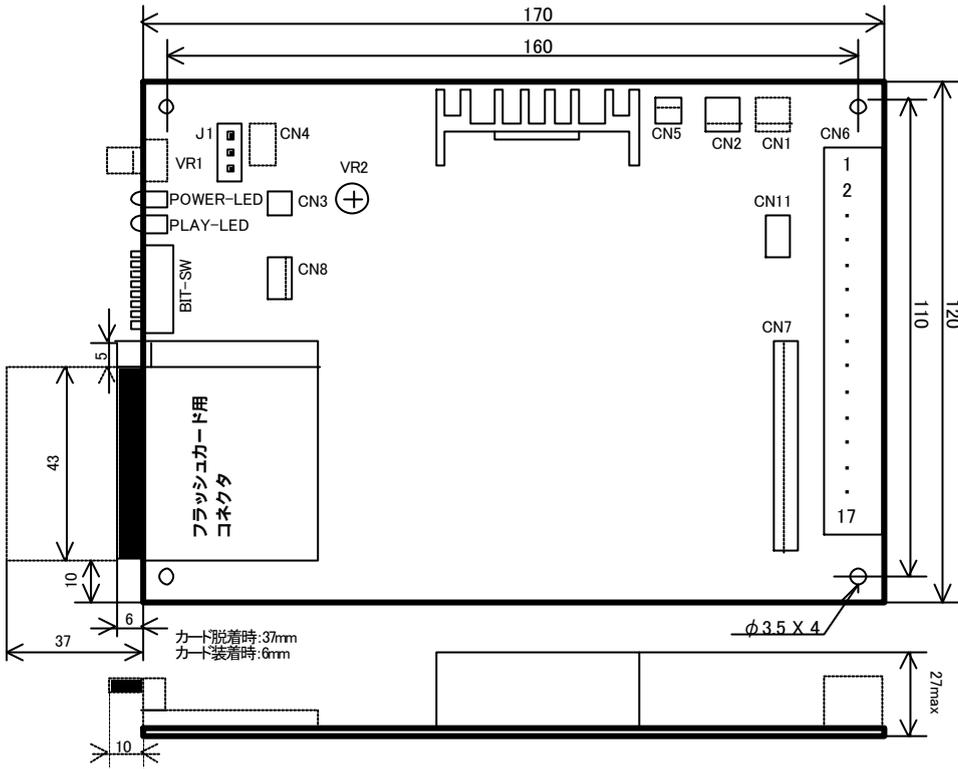
無償ダウンロード

VoiceNavi Announcer <テキスト>入力アナウンサーソフト



(Excel アナウンス)
Excel 上のセル内に入力したテキストデータを試聴してから、WAVE ファイルに出力保存できます。登録エディタソフト VoiceNavi Editor も収録されています。

外観図



再生モード

DIP SW bit で設定します。電源 ON 時有効になります。

DIP SW									
1	2	3	4	5	6	7	8	再生モード	
	●	●							1
●	●	●						2	予備

● - ON

プログラムローダー

CF カードを使用して、〈ユーザー〉仕様の再生モード・タイマーなどのプログラムを書き換えます。

DIP SW1									
1	2	3	4	5	6	7	8	音量制御	
									1
							●	2	書き込み有効

音量制御

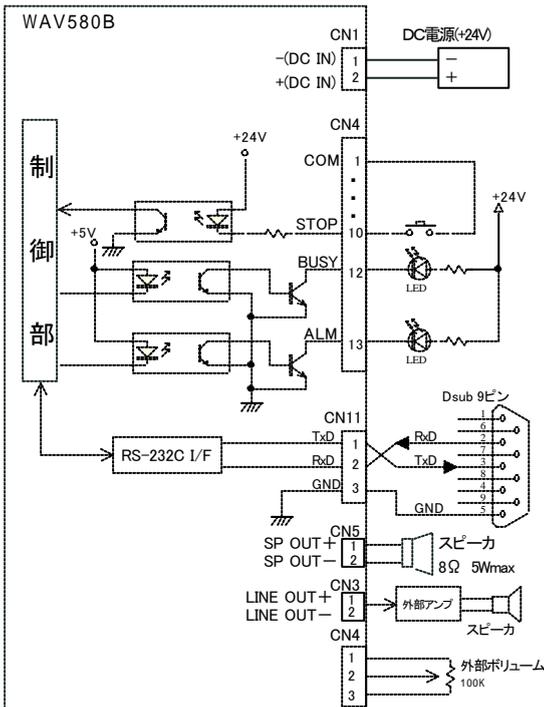
ホストからの音量制御(RS-232C 制御またはバイナリ制御)の可否を設定

DIP SW1									
1	2	3	4	5	6	7	8	音量制御	
									1
							●	2	音量制御有効

■コネクタピンアサイン

CN No.	PIN No.	I/O	説明		備考
			接点制御	バイナリ制御	
CN7	1		COM		付属品 CK-WAV580B
	2	I	/SW8	/D7	
	3	I	/SW7	/D6	
	4	I	/SW6	/D5	
	5	I	/SW5	/D4	
	6	I	/SW4	/D3	
	7	I	/SW3	/D2	
	8	I	/SW2	/D1	
	9	I	/SW1	/D0	
	10	I	/STOP		
	11	I	/OP	/STB	
	12	O	/BUSY		
	13	O	/ALM		
	14		COM		
	15		COM		
	16		COM		
CN8	1		外部 VR-1		オプション CK-VER3
	2		外部 VR-2		
	3		外部 VR-GND		
CN3	1		LINE OUT +		オプション CK-LER2
	2		LINE OUT -		
CN5	1		スピーカー出力 +		付属品 CK-WAV580B
	2		スピーカー出力 +		
CN11	1	I/O	TxD 送信		付属品 CK-W2RS
	2		RxD 受信		
	3		GND 信号用 GND		
CN1	1		DC+24(12)電源入力 +		付属品 CK-WAV580B
CN2	2		DC+24(12)電源入力 -		

■接続参考図



パソコンの D-SUB コネクタと接続する場合

(注) ホスト間のケーブルはクロスケーブルを使用

CK-W2RS に D-SUB コネクタを接続し、パソコンとは RS232C ケーブル(クロス)で接続します。

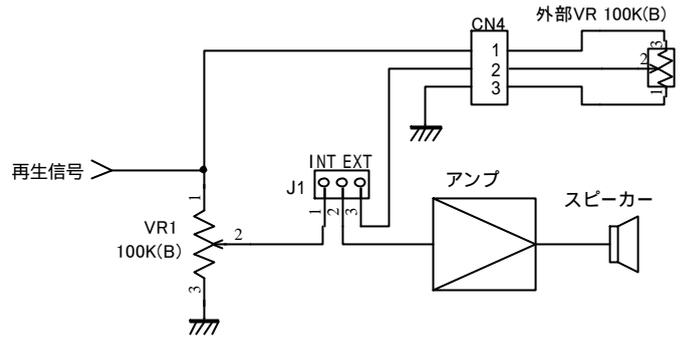
D-SUBコネクタ ピッチ:HDEP-9Pまたは相当品



外部音量ボリュームの接続 3段階の音量レベル切替機能]

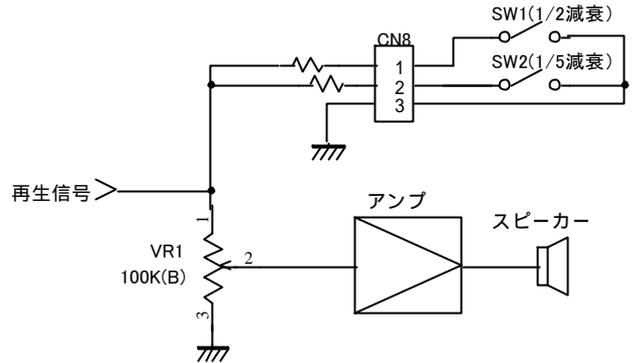
【外部音量ボリュームを接続する場合】

ジャンパーピン (内部 VR と外部 VR の設定)を外部 VR に設定。
 オプション CK-VER3に可変ボリューム 100KΩ(B)を接続します。



【外部接点端子による 3段階音量切替の場合】

[音量切替端子] 大・半固定 VR と同一 中(大×1/2・約-6dBm) 小(大×1/5約 -14dBm)
 オプション CK-VR3G3 にスイッチ等を接続します。
 メイン音量はボード上の半固定ボリューム (外部 VR 使用の場合のその VR)で調整できます。

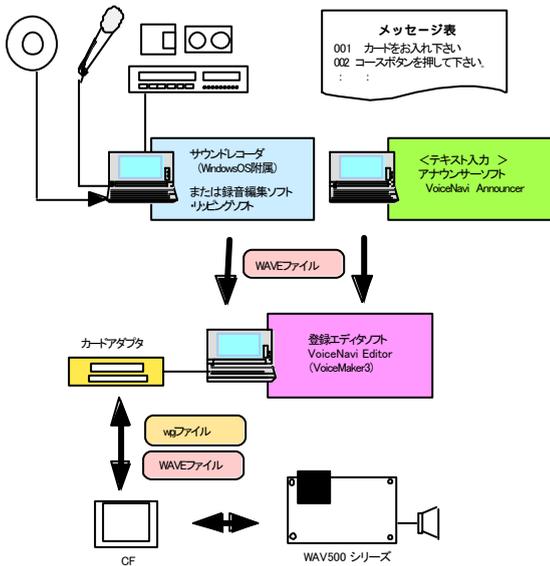


【音量メッセージの録音または登録 (カードデータの作成)】

WAV500 シリーズは、自社録音または既存の WAVE ファイルを登録エディタソフトを使用してカードデータを作成する方法とシリーズを録音ツールとして使用する方法があります。

WRX7000

【登録エディタソフト VoiceNavi Editor を使用する場合】



■録音・WAVE ファイル作成

- 1.MD・DAT、マイクの場合
Windows /パソコン上で録音・ファイル保存
- 2.オーディオ CD の場合
市販の録音編集ソフトまたはリッピングソフトで WAVE ファイルにリッピングし、保存します。
- 3.テキスト入力の場合
市販のテキスト音声変換ソフトまたは <テキスト入力>アナウンサーソフトで WAVE ファイル保存。

■WAV500 シリーズ用カードデータの作成

登録エディタソフト VoiceNavi Editor で試聴しながら WAVE ファイル登録、アドレス・プログラム登録し、カードデータ作成します。(モード C WAV500 シリーズ用)

■CF カードへコピー

作成したカードデータをカードアダプタ経由でコピーします。

【WRX7000 シリーズを録音ツールとして使用する場合】

■録音

WRX7000 シリーズ本体で MIC またはライン入力で録音します。

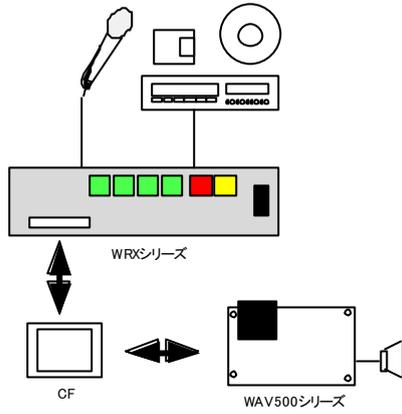
WRX7200II 4CHmax

WRX7700II 8CHmax.

CF カードにはリアルタイムで PCM データで録音、WAVE ファイル形式で記録します。

WRX シリーズで録音したカードデータも登録エディタソフト

VoiceNavi



ト VoiceNavi Editor で読み込みできます。
また録音した CF カードのデータはパソコンで CD や DVD
にバックアップして保存して下さい。

(注)本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉3500-17 TEL 026-257-6210 FAX 026-217-2893
URL <http://www.voicenavi.co.jp/> E-mail : info@voicenavi.co.jp